

## 墓老連ニュース

第151号

### 墓老連の目的

老人開基同好会の誰もが、活きいきと生命力を維持し  
“墓を楽しむ”ことができるよう、機会と場所を確保する  
ために相協力し、園墓を通じて親睦をはかり、更には、  
より良き福祉社会に貢献することを念願する。

発行日 平成16年1月24日  
発行所 八王子の墓を楽しむ老人連合  
住 所 八王子市めじろ台3-12-1  
TEL (0426) 63-5107  
発行人 真田 誠次  
編集者 小池 英一

### 年頭に際し、新年の御挨拶と所感

平成十六年元旦 真田誠次

**明けましておめでとうございます。**

昨年はいろいろとお世話になりましたがどうございました。今年も墓老連関係の役員各位とともに相協力して一生懸命に努めてまいりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

年が明けると改めて思うことですが、人は誰でもいろいろな癖がありますが、よく「なくて七癖」と言われます。怠け癖、浪費癖、泣き癖、嫉妬癖、ヒステリー癖などはいただけませんが、実際、癖がつくとなかなか直らない。さまざまな癖は、生命の傾向性ともいえる。

要是、その方向に傾いたり、曲がったりするものをどう転換できるかが、次への転機となるというようなことを何かで読んだことがあります。全く同感です。

そこで私は癖と言つても何事に対しても「前向きに前進する癖」がつけられたらと思っています。そのためには意識革命というか大袈裟にいえば人間革命をして境涯を少しでも大きく開くことが必要でしょう。健康で長生きするコツでもあると思います。

徒然草か何か忘れましたが「存命の喜び日々楽しみざらんや」という言葉、含蓄のある言葉です。また、ある新聞で読んだのですが文豪吉川英治は小説「宮本武蔵」の中で、人生には苦と快の二つがあるが、「その一方に狡く抛ってただ安閑だけをぬすもうとすれば、人生はない、活きてゆく快も味もない」と綴った。苦あればこそその樂。正に人生の妙味だとありました。

まあ少し話が違うかも知れませんが、開基の世界でも武宮九段ではないですが、盤上を宇宙になぞらえて、「勝てば官軍」でしょうが、「負けるが勝ち」ともいいます。お互いに仲間、勝っても負けても思う存分打って見たいと思いますが、いかがでしょうか。

今年も公私ともにいろいろなことがあると思いますが、ともどもにこの「前向きに前進する癖」で明るく元気で行こうではありませんか。

<http://www.asahi-net.or.jp/~jh8r-mtd/gororen/>



## 第11回碁老連タイトル争奪戦のご案内

日 時 平成16年2月15日(日) 受付午前9時~9時20分  
 会 場 東浅川保健福祉センター(東浅川町551-1、電話67-1331)  
 主 催 碁老連  
 後 援 八王子市、八王子市教育委員会、日本棋院  
 タイトル 八王子名人(日本棋院)八王子王座(NTT杯)八王子天狗(碁老連杯)  
 参加資格 地区タイトル保持者  
 参加費 700円(弁当代を含む)  
 注意事項 自家用車でのご参加はなるべくご遠慮ください。  
             失格にならないように定刻にお出でください。

地区別	期	名 人	王 座	天 狗
淺川	前	真田 誠次 7段	岩窪 忠孝 4段	木村 一男 6段
	後	下重 利雄 6段	高橋 明善 6段	神宮寺敏郎 7段
元八	前	三浦 和夫 4段	吉田 征也 5段	中村 幸雄 5段
	後	知沢 吉雄 2段	清水 勇 5段	小笠原貞美 6段
恩方	前	中邑 豊 6段	五十嵐 寛 6段	淵上 和雄 7段
	後	大川 倭男 7段	山崎 稔 3段	荒井 正 3段
中野	前	野口 博 6段	橋本 悅二 5段	斎藤 達郎 3段
	後	半田 武正 6段	清水 文彦 4段	中村 靖初段
大和田	前	小山 和男 4段	山中 茂 3級	豊田 弘伯 4段
	後	八木 義光 4段	根津 英雄 2段	渡辺 清 3級
石川	前	中山 昌久 5段	松島 祐造 4段	松本 健彦 5段
	後	戸野 敦充 5段	三宮 敏典 4段	勝山 恒男 2段
由井	前	奥山 和英 6段	宮本 忠治 2段	下田 政男 3段
	後	森本 穀 5段	川岸 達雄 5段	佐々木胖充 2段
台町	前	江口 靖穎 7段	端山 昌夫 4段	桑原 静夫 2段
	後	馬込 時兄 2段	山崎 修司 4段	石川 進 3段
山木	前	原田 実 1級	松浦 辰寿 6段	布施 裕輔 3段
	後	信江 峻 7段	大場扶美夫 7段	小林 三洲 3級
北野	前	若林 近生 3段	山本 徳美 6段	甲斐 正憲 2級
	後	植木 正芳 2段	柳井 光夫 2段	山本 淳三 6段
長房	前	中村 幸男 2段	山崎 修 4段	林 国正 5段
	後	塚原 和利 5段	小川 勇 7段	安西 実 4段

**第13回碁老連囲碁大会成績表 (12月7日)**

参加総人員197名

**Aクラス (6段以上)**

**優勝 大場扶美夫 6段 (7段に昇段)**

準優勝 半田 武正 6段

3位 石神 芳雄 6段

4位 木村 一男 6段

参加者32名

真田 誠次 7段 山県 文雄 6段

奥山 和英 6段

大川 倭男 7段

小西 徹 6段 潤上 和雄 7段

大場扶美夫 6段

藤井 忠明 7段

西山 孝二 6段 梅田昭二郎 6段

信江 嶺 7段

中田 勤 6段

小川 男 7段 松本 健彦 6段

下重 利雄 6段

中邑 豊 6段

高橋 明善 6段 梅沢 淳 6段

早川 舟 6段

木村 一男 6段

石井 正之 6段 新保 礼次 6段

五十嵐 寛 6段

山本 徳美 6段

野口 博 6段 石神 芳雄 6段

養田 高尾 6段

池袋 雅文 6段

半田 武正 6段 竹下 利男 6段

松浦 長寿 6段

佐藤 要吉 6段

**Bクラス (5段~4段)**

**優勝 川岸 達雄 5段 (6段に昇段)**

準優勝 杉淵 清 4段

3位 橋本 悅二 5段

4位 谷 透 4段

参加者23名

太塙 清 5段 大藪 成人 5段

亀谷 一郎 5段

戸野 敦充 5段

磯部 信廣 5段 三浦 和夫 4段

杉淵 清 4段

吉田 征也 4段

岩瀬 忠孝 4段 橋本 悅二 5段

中山 昌久 5段

山本 金昭 4段

川岸 達雄 5段 山崎 修 4段

大河原 静 4段

藤崎 稔 5段

佐藤 利夫 4段 市川 隆一 5段

谷 透 4段

石川 義秋 5段

清水 文彦 4段 藤岡光四郎 5段

吉開 孝之 4段

## 第6回天王寺大聖盃碁

### C クラス (4段ー3段)

**優勝** 中村 幸雄 4段 (5段に昇段)

**準優勝** 五十樓健一 3段

**3位** 鈴木 茂 4段

**4位** 藤森 立喜 4段

#### 参加者24名

嶋田 高明 4段

長島 廣 3段

相川 彰 4段

藤本 羊助 3段

田中 利孝 4段

山崎 修司 3段

望月 成一 4段

五十樓健一 3段

藤森 立喜 4段

丸山 郷 3段

関 美佐夫 4段

伊藤 茂雄 3段

中村 幸雄 4段

鈴木 茂 4段

八木 義光 4段

山本 林 4段

岸村 佐 3段

山本 三好 4段

高橋 重二 3段

武藤 至輝 4段

浅野 博之 3段

遠藤 治夫 4段

町野 年明 3段

千谷 啓雄 3段

### D クラス (3段ー2段)

**優勝** 山崎 修路 3段 (4段に昇段)

**準優勝** 平田 光一 3段

**3位** 小造 義勝 3段

**4位** 荒井 正 3段

#### 参加者26名

串田 安二 3段

城 定誠 3段

山崎 修路 3段

斎藤 達郎 3段

小造 義勝 3段

池田 悟 3段

安田 實 2段

荒井 正 3段

雨宮 国蔵 2段

山田 實 3段

植谷 昌司 2段

平田 光一 3段

倉田 政治 2段

横藤田 正 3段

丹 威史 2段

刀根 正樹 3段

秀島 照次 2段

六本木 浩 3段

木所 敏雄 2段

市川 公男 3段

田中 駒雄 2段

安谷屋哲一 3段

植木 正芳 2段

淵本 康方 3段

八木貞之助 2段

大野 稔夫 2段

### E クラス (2段)

**優勝** 雨宮 三男 2段 (3段に昇段)

**準優勝** 吉田 友二 2段

**3位** 根津 英雄 2段

**4位** 添田 悅男 2段

参加者25名

小池 英一2段	笠原 昭次2段	江口 満雄2段	馬込 時兄2段
海老沢喜好2段	吉田 友二2段	澤田 卵藏2段	石田 利雄2段
砺波 康治2段	細井 昌男2段	宮林 国夫2段	佐々木胖充2段
宇井 久2段	唐木 伸2段	藤野 誠二2段	桑原 静夫2段
根津 英雄2段	河津 秀雄2段	後藤 築夫2段	笛本 梅吉2段
井出 道明2段	雨宮 三男2段	波多野 博2段	斎藤 吉明2段
添田 悅男2段			

## Fクラス(初段)

## 優勝 穂積 宏易初段 (2段に昇段)

準優勝	下山 正夫初段
3位	古川 中初段
4位	古屋 常男初段

参加者28名

堀口 哲初段	中岡 誠初段	上田 昭雄初段	倉田 三初段
久保 保初段	清水 明一初段	山上 利博初段	吹上 吉輝初段
島 勝義初段	小峰 貞雄初段	長原 修策初段	青木 岩三初段
古川 中初段	田中 正勝初段	田村 強初段	柳 保治初段
若林 松吉初段	穂積 宏易初段	立石 達初段	山浦 伝一初段
古屋 常男初段	中村 靖初段	宍戸金一郎初段	浜砂 勝良初段
本間 邦夫初段	小関 貞満初段	大山 芳雄初段	下山 正夫初段

## Gクラス(1級-2級)

## 優勝 伊藤 功2級 (1級に昇級)

準優勝	安藤 義一1級
3位	横嶋 清次2級
4位	原田 竹夫1級

参加者22名

松本 清時1級	矢部 藤昭1級	昆 隆1級	安藤 義一1級
原田 実1級	天野 實1級	坪内 和雄1級	和田 育造1級
原田 竹夫1級	植松 森一1級	川端喜太郎1級	深沢 辰男1級
塙 雄幸1級	伊藤 功2級	横嶋 清次2級	武発 悅子2級
藤本 淳雄2級	小田 了二2級	松本 康夫2級	高橋 敏彦2級
牧野 弘夫1級	横山 正巳1級		

## 黄色いリボン

由木寿開碁同好会 信江 峻

バルブ経済華やかな昭和60年頃、八王子労政会館で某不動産会社主催のアマ開碁大会(2日間)が開催された。団体戦と個人戦があり、200~300人集まつたと思う。団体戦は5名1組で都内の有名碁会所や大企業がチームを組み、優勝チームにはかなりの賞金がでたようである。

優勝した八王子開碁研究会は大将三浦 浩、副将平田博則であった。他のチームにも原田 実、今村文明など錚錚たる顔ぶれが集まつた。プロも木谷門下の大竹英雄、王 立誠、大矢浩一、上村陽生などが来て指導碁を打つてくれた。

私も上村陽生、張 旋(現中国の常 覧夫人)の指導を受けることができた。個人の名人戦で髪に黄色いリボンを付けた可愛い少女が、気合の良い打振りで強豪をつぎつぎに破り勝ち残った。決勝戦では、観戦の誰もが彼女を応援しているように思えた。結局彼女は満戦むなしく敗退した。「折角ここまで来たのに」とつぶやきが聞こえ、可愛ううだった。

優勝者は、「これまで彼女には負けたことはありません」と言っていた。

彼女は中学2年生で13歳、近々院生になるという話だった。

その後彼女の消息を聞くこともなく数年が経過し、芽がでないのかなと思っていたところ、「週刊碁」で彼女が慶應大学の碁部主将と知つて大変驚いた。

彼女は今をときめく梅沢由香里、慶應大学卒業後プロ棋士になり現在5段。

ご存知のように、NHKテレビ番組のレギュラー、人気碁漫画「ヒカルの碁」監修と超売れっ子である。

一昨年Jリーガーの吉原選手(川崎フロンターレGK)と結婚した。

あの時の優勝者は現在「碁老連技術顧問」の荒井良夫さんである。

この大会は数年続いたが、荒井さんは連続優勝、その後梅沢さんには仇をとられたそうだ。

碁老連誕生前の話である。八王子にまた元気な企業が出て、あのような大会を開催して欲しいものである。

私は平成8年末碁老連に加入し、お陰で開碁大会、団体対抗戦に参加できるようになった。開碁は、写真、社交ダンス、俳句の合間に専らインターネット対局・観戦を楽しんでいる。

それにも関わらず各国のレベルの向上には驚いた。30数年前、欧米選手権で優勝したアメリカチームの副将に連勝したなど夢のような話である。

このバンダネットという会員5万人を擁するインターネット対局ソフトも、アメリカで開発され、韓国で修正されて来たものである。

世界の開碁人口は、2000年10月現在59ヶ国3600万人で、うち中国2000万人、韓国

4万人才オランダ3万人、ブラジル3万人、フランス2万人で、世界の国の半数75ヶ国に普及するようになれば、囲碁もチェス、ブリッジ、オセロに次いでオリンピック参加資格を獲得できるそうだ。

日本の開碁人口は、一時減少していたが最近増加しており青少年層・女性・級位者の大会が開催されるようになった。

日本の開碁は韓国、中国には押されぎみで相撲と共に国技がのつとられそうな現状は嘆かわしい。

韓国や中国には若いプロ棋士が大勢いる。日本も子供達への普及に努め、「山下敬吾」や「ゆかりちゃん」のような活きの良いプロ棋士の輩出を望むものである。

### ご存知ですかスイス方式採点法

スイス方式は19世紀後半からヨーロッパでチェスの競技大会で採用されたとの事です。トーナメント戦では1回負けると終わりですし、また人数が多くなると対戦回数が多くなり例えは32名を超えると優勝まで6回かかります。リーグ戦では

参加者数×(参加者数-1)／2回

対局する必要があり参加者が多いと何ヶ月間もかかります。スイス方式は両方式の欠点をカバーするため考え出された方式でイベント性の高いアマの大会に最適です。

組み合わせ方法、順位の決め方には色々バリエーションがあるようです。

現在、世界アマ選手権戦、世界女子アマ選手権戦、国際アマ選手権戦はスイス方式で行われます。またローカルな開碁大会でも八王子市民文化祭開碁大会、石川開碁同好会開碁大会等スイス方式を採用しているところが多いようです。パソコンの小型化、性能向上により、今後スイス方式を採用するところがますます増えると思います。

以下に世界アマ選手権戦のルールを説明します。

#### 手合割

1. オール互先

#### 組合せ方法

1. 1回戦は抽選で対戦相手を決めます。

2. 2回戦は勝者同士、敗者同士を対戦させます。

3. 3回戦以降もなるべく近いポイント同士を対戦させます。

### 順位の決め方

1. 勝ち数が多いほど上位にきます。
2. 勝ち数が同じ場合、得点（対戦相手の勝ち数を合計したもの）の多い人が上位になります。
3. 得点も同じ場合、総得点（対戦相手の得点を合計したもの）の多い人が上位になります。
4. 総得点も同じ場合、直接対戦していれば、勝った人を上位とします。
5. 上記の1から4までに差がなければ、同順位とします。

表1に具体例を示します。

$$\begin{aligned} A\text{の得点} &= B\text{の勝ち数} + D\text{の勝ち数} + C\text{の勝ち数} + G\text{の勝ち数} + H\text{の勝ち数} \\ &= 4 + 2 + 3 + 2 + 4 = 15 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} A\text{の総得点} &= B\text{の得点} + D\text{の得点} + C\text{の得点} + G\text{の得点} + H\text{の得点} \\ &= 14 + 12 + 11 + 13 + 11 = 61 \end{aligned}$$

となります。

BとHは勝ち数は同じ4ですが得点がBの方が多いので上位になります。8人のトーナメント戦では3回で決着がつきますが、スイス方式では4回、5回と楽しむことが出来ます。またリーグ戦では各人7回対局しないと決着が付きません。

順位の決め方では八王子市民文化祭囲碁大会のように総得点の代わりに自分が勝った相手の勝ち数の合計（勝ち点）を採用している所もあります。

また石川囲碁同好会では7段から10級までを互戦に近い組合せになるように1枚の対局表で管理し皆さんに対局を楽しんで頂いております。

先日の碁老連大会ではAクラスの参加者が多く5回戦で処理できないため32名になるよう辞退していただきました。スイス方式であれば人数に関係なく5回戦で処理する事が出来ました。

このようにスイス方式は非常にフレキシブルな方式です、工夫すれば、それぞれの環境に合わせて使用できます。碁老連でも大会の効率化のためスイス方式を検討されるとの事、全面的にバックアップしていきたいと思っております。

石川寿囲碁同好会 松田 礼治

表1

対局者		1回戦		2回戦		3回戦		4回戦		5回戦		勝ち数	得点	総得点	順位
番号	氏名	相手	勝敗												
1	A	2	4	1	3	1	7	1	8			3	15	61	3
2	B	1	1	3	1	7	1	8		4	1	4	14	62	1
3	C	4	1	2		1		6	1	5	1	3	11	65	4
4	D	3		1		6	1	5	1	2		2	12	64	6
5	E	6	1	7		8		4		3		1	12	59	7
6	F	5		8		4		3		7	1	1	12	59	8
7	G	8	1	5	1	2		1		6		2	13	64	5
8	H	7		6	1	5	1	2	1	1	1	4	11	66	2

勝敗 1が勝ち

## 役員会報告

### 1. 基幹連役員総会

平成16年度役員総会を3月14日(日)9:00~12:00東浅川保健福祉センターで開催が決まった。各寿明基同好会より会長と会長代理か副会長(各支部2名づつ)が出席する。

### 2. 平成15年度の活動実績報告の作成や16年度の活動計画案などが討議された。又1

6年度は由井と台町が独立して活きいき大会や団体対抗戦に望むことになるため日程やスケジュールの見直しが検討された。

### 3. 12月に各同好会宛にアンケート調査を依頼しその回答の報告があった。団体対抗戦は回数は減っても実施した方が良いが80%、会長選出方法の規約改定案及び本部役員の任期改定案(現行1年を2年とする)も各々80%、70%の賛成があった。

### 4. 棋聖大賞碁碁大会(1月25日)の開催にあたり運営方法や参加者への往復ハガキの発送などが討議された。





